



化学物質管理活動分科会

会場 京都パルスプラザ（3F 稲盛ホール）〔京都市伏見区竹田鳥羽殿町5〕

交通 京都市営地下鉄烏丸線・近鉄京都線「竹田駅」北西4番出口より徒歩15分
JR「京都駅」八条口からの直通バス・京都らくなんエクスプレス
〔京都パルスプラザ・京セラ前〕下車より徒歩1分

10月25日（金） プログラム（9:00開場）

9:30

① 技術開発本部の化学物質リスクアセスメントの取り組み

川崎重工業(株) 明石工場
技術開発本部 業務部 安全・施設課 基幹職

加藤 大輔

化学物質の取り扱いにおける健康被害を防止し安全に研究開発を進めるよう過去にあるいは他部署が実施したリスクアセスメントの情報を電子化し一元管理するシステムを開発した。リスクの抽出や対策が効率良く行え、リスクレベルの評価ミスを防ぐなど、安全性・生産性の向上が図れた。

9:50

② 化学防護手袋の耐透過性能の簡易的なテスト手法について

(株)日本触媒 姫路製造所
環境安全部 環境安全課 課長

峯 一弥

化学防護手袋を適正に使用し、従業員の健康障害や薬傷を防止するためには、手袋の耐透過性能を取り扱い物質毎に適正に評価することが必要となる。この度、十文字女子学園大学の田中教授のご指導のもと、簡易的な装置を用いた評価テストが可能か検証を行ったので、その結果を紹介する。

10:10

③ 個人ばく露濃度計を活用した有機溶剤リスクへの対応

住友理工(株)
安全衛生部

渡邊 健治

有機溶剤による中毒を防止する取り組みとして、作業環境測定が行われる。しかし、諸条件による気中への発散変動や作業エリアが広い時などは適切な評価が難しい場合がある。そこで、今回、個人ばく露濃度計を活用する事で、作業環境測定方法の検証等の取り組みを報告する。

(10:30～10:40 休憩) 10:40

④ グリーンプリンティング認定制度の取り組みと職場環境の改善および今後の進め方

(一社)日本印刷産業連合会
GP推進部 部長

殖栗 正雄

中小零細規模の企業が多い印刷産業界においては、環境および職場環境の改善のための施策を業界団体が主導している。グリーンプリンティング認定制度は当連合会が制定し、認定基準に基づき環境および職場環境改善事業所の認定、また改善に結びつく洗浄剤等資材の認定を行っている。

11:00

⑤ 化学物質のリスクアセスメントに加え、マネジメントに活用可能なPID検知器の事例

理研計器(株)
営業技術部 営業企画課 課長

寺内 靖裕

化学物質のリスクアセスメントが実施義務化されてから2年半が経過し、ガス検知器を使用した様々な事例は、リスクアセスメントのみならず、リスクマネジメントへの活用へと拡がりを見せている。ガス検知器の活用事例と共に、見える化や働き方改革等トレンドに繋がる事例を紹介する。

11:20

45

次ページにつづく



化学物質管理活動分科会

11:20

6 ダクトレス発散防止装置を用いた接着作業場の有機溶剤中毒予防対策

昭和電機(株) 大東工場
営業部 セールスエンジニア

清原 一益

接着作業における有機溶剤の蒸気を最初局所排気装置にて屋外排気を検討したが、作業場から屋外までのダクト施工距離がとても長く、また作業場のレイアウト変更も頻繁にあるため、活性炭を用いたダクトレスの発散防止抑制装置(ダクトレスベンチレーサ)を導入することとなった。

11:40

特別報告

化学物質対策の動向について

厚生労働省 労働基準局
安全衛生部 化学物質対策課長

塚本 勝利

第13次労働災害防止計画における化学物質対策の紹介をはじめ、化学物質による労働者の安全と健康対策の動向について講演する。

(12:10 ~ 13:10 昼休み) 13:10

7 アセトンを使ったわかりやすい検知管の化学物質リスクアセスメントの演習方法について

(公社) 神奈川労務安全衛生協会
労働衛生技術専門家会議 委員(株)ガステック品質保証室課長

笹島 義徳

厚生労働省から示された「検知管を用いたリスクアセスメント」についてなかなか使いこなすのが難しいという意見が聞かれる。そこで多くの方々にその手法を理解、実践してもらうため、アセトンを使い平易かつ応用が利く演習方法について、現在当協会が実施している内容を紹介する。

13:30

特別報告

ナノマテリアル取扱い作業場でのPM0.1 ナノ粒子ばく露濃度について

中央労働災害防止協会
労働衛生調査分析センター 技術専門役

東久保 一郎

ナノマテリアルは100nm以下の粒子(PM0.1)と定義されているが、PM0.1 ばく露濃度は作業者に装着できるサンプラーがないため報告がない。今回新たにPM0.1の粒子を捕集するサンプラーを開発し個人ばく露濃度を調査したので結果を報告する。

(14:00 ~ 14:10 休憩) 14:10

シンポジウム

個人ばく露測定によるリスクの見える化 ～視覚的に捉えたばく露低減対策・改善に向けて～

基調講演 産業医科大学 産業保健学部 教授

宮内 博幸

話題提供者 (株)ダイセル 大阪本社 レスポンシブル・ケア室

他 取組事業場 数社

中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 分析測定室

司 会 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 所長

圓藤 吟史

16:10